

▶ サブスクの新規会員登録・動画一覧はこちら
<https://00m.in/66xvk>

Video Tone
ビデオトーン

Media Park
メディアパーク

保育者育成ビデオ教材

サブスク

保育作品カタログ

保育の内容

こどもの保健

児童福祉

こどもの発達

特別支援教育



サブスク会員登録について

新規会員登録

カタログ表紙のQRコードまたはURLから、当社サブスクリプションサービスのページに飛びます。ページの右上に「新規登録」の文字がございますのでクリックしてください。
新規会員登録画面に移りますので、すべての情報を入力して「利用規約・プライバシーポリシーに同意」の上、「アカウントを作成する」をクリックするとアカウントが作成されます。折り返し、自動送信メールよりログインURLが送られますのでそこからログインしてください。

サブスクの買い方

サブスクリプションの購入は、動画の再生画面をクリックすると「料金を見る」というボタンが表示されます。そのボタンをクリックすると、購入ページに飛びます。

プランを選ぶ

月払い 8,800円(税込)

OR

年払い 100,320円(税込)

まずは年払いか月払いかを選択してください。年払いの方が5%お得にご利用いただけます。

クレジットカード決済

「購入画面へ」をクリックすると、クレジットカード決済の画面に移行します。クレジットカード情報を入力後、すぐに映像をご視聴いただけます。

銀行振込

「請求書払いはこちら」をクリックすると、請求書・領収書の宛名とメールアドレスを入力する欄が表示されます。「請求書を送信する」をクリックした後、請求金額0円の請求書がメールにて自動で送信されます。

サブスクスタート!

掲載されている作品はすべて見放題となっています。次回の期日までに解約をしない場合、サブスクリプションは継続されますのでご注意ください。



サブスクサービスのよくある質問

もくじ

保育の内容

児童文化財を用いた保育実技 手遊び編	4
児童文化財を用いた保育実技 絵本読み聞かせ編	4
保育のマナーとコミュニケーション	4
考える力・意欲・関わる力が育つ保育	4
0歳児のあそびと保育者の役割	4
0歳児保育 あそびの中で乳児は学ぶ	5
2歳児保育 やさしさが育つとき	5
乳幼児へのまなざし	5
21世紀型の保育実践	5
環境構成の理論と実践	6
赤ちゃんとの出会いと関係づくり	6
保育者養成校における子育て支援活動 ―親子を繋ぐきっかけ作り―	6
懐かしくて新しい紙芝居コミュニケーション～演じてみよう！紙芝居～	6
関東学院六浦こども園の1日	7
生活・遊びを通して学ぶ保育 満1歳以上満3歳未満の園児の保育内容	7
主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ	7
遊び保育の実際	8
さまざまな保育の職場(保育教諭)―男性保育者の仕事を通じて―	8
続・保育者を目指すあなたへ 幼稚園教育実習編	8
続・実践に学ぶ幼児の保育 認定こども園編	8
幼児の運動遊びの実践 ～遊具・身体表現・リズム遊び～	8
感じたままに表現するピアノ奏法	9
子どもと保育者に届けたい弾き歌いと音楽表現	9
豊かな音楽表現を育てる幼児のリトミック	9
幼児のリトミック	9
幼児の身体表現 ―発達の視点によるダンス活動―	10
乳幼児期の砂遊び	10
保護者からのクレームを活かそう	10
地域で子育て支援 ファミリー・サポート・センターの取り組み	10
家庭的保育 ～その役割と実践～	10
保育のひだまり ―子どもに寄り添い育み育まれる保育 ―	11
幼稚園教育実習	11
子どもを育む保育の環境	11
保育士・幼稚園教諭になるために	11
保育の安全と事故防止	12
施設実習の予備知識	12
保育における家族援助	12
保育ゼミナール ―語りあい学びあう保育の世界―	12
低年齢児の保育	12
保育所の地域子育て支援	13
はじめての保育実習	13
保育者を目指すあなたへ	13
乳児保育の実際	13
幼児の育ちと造形	13
実践に学ぶ幼児の保育	14
遊ぼうよ ―こころを育む親子の関わり―	14
保育者へのあゆみ	14
小さな冒険者のために	14
保育所の日	14
楽しく食べる子	15
あかちゃんと離乳食	15
たのしい離乳食	15
子ども家庭支援センター	15
応答的保育	15

こどもの保健

保育看護 ―病児・病後児保育―	16
乳幼児健診の手引き	16
子どもの保健・実習	16
乳幼児精神保健	16

児童福祉

児童養護施設における施設実習	17
子ども虐待における家族支援	17
「しつけ」と「虐待」	17
<乳児院> あたたかい見守りの中で	17
里親養育	17
子ども虐待	18
虐待を防ぐために	18

こどもの発達

乳幼児の発達を支えるマザリーズ	18
健康な乳幼児の発達	18
音楽的な遊びに見る乳幼児の発達	18
乳児の食べる機能と成長・発達	19

特別支援教育

3法令と障がいのある子どもの教育・保育	19
特別支援教育 知的障がい児のキャリア発達を育むキャリア教育	19
特別支援教育 知的障がい児のキャリア発達を育む学校力	19
肢体不自由児の水遊び・水泳	20
障がいのある子どもの運動遊び	20
知的障害児・者の身辺自立	20
障害のある子どもの個別指導	20
動作法～癒しのボディ・ワーク～	20
ダウン症児の早期発達支援	21
感覚統合 ～自閉症スペクトラム児・者の感覚処理障がいと対応～	21
子どもの精神医学の理解	21
自閉者が語る幼少時代	21
軽度発達障害のある子どもたち	22
もっとたのしく、もっとゆたかに	22
気になる子どもがいる保育	22
落ち着きのない子どもたち	22
障害をもつ子どもの発達臨床	22

その他

サブスクの会員登録方法について	2
映像制作のご案内	23

保育の内容

保育の内容

児童文化財を用いた保育実技 手遊び編

監修：大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 久富 陽子

* DVD 活用例 PDF 付属

タイトル	時間	内容	制作年
児童文化財を用いた保育実技 手遊び編 全1巻	54分	実際の保育の現場での、3歳児、4歳児、5歳児クラスの手遊びの場面を見ていきましょう。保育者はどのようなねらいで行っているのか、子どもたちはどのように楽しんでいるか、考えたり話し合ったりしてみましょう。「DVD活用例」を参考に、多様な活用をしていただければ幸いです。	2022



児童文化財を用いた保育実技 絵本読み聞かせ編

監修：大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 久富 陽子

* 解説字幕あり・なし

タイトル	時間	内容	制作年
児童文化財を用いた保育実技 絵本読み聞かせ編 全1巻	40分	実際の保育の現場での絵本の読み聞かせの場面を見ていきましょう。日常の保育の中の活動をそのまま収録しているため、保育者に話しかけてきたり、時には他に気がそれてしまったりする場面もあります。そうした姿は子どもの自然な姿でもあるので、その背景や対応などを考えながら見てみましょう。	2020



こどもの保健

保育のマナーとコミュニケーション

監修：白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科 教授 目良 秋子

* 第3・4巻ナレーションあり・なし

良いマナーとコミュニケーションによって、保育者、保護者、子どもの連携が強くなり、結果として保育の質が向上します。また保育者同士の連携も、保育におけるさまざまな問題解決のために重要です。良い保育を実現するためのマナーとコミュニケーションについて学んでいきましょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 保育におけるマナーの重要性	11分	保育の仕事をしていく中で、なぜマナーが必要なのか、どのような心構えで保育の仕事にのぞむべきか、わかりやすく解説していきます。	2020
2 良い保育を行う助けとなる「形としてのマナー」	23分	保育現場のさまざまな場面における、「形としてのマナー」を見ていきましょう。主に実習生の実際の姿を通して解説していきますが、現職の保育者の皆さんにも役立つ内容になっています。	2020
3 保育の実践の場面から学ぶコミュニケーション1	27分	この巻では、ある保育者の一日の仕事の様子をみていきます。子ども、同僚保育者、保護者など、さまざまな相手との関わりの場面を通して、日常の保育における、マナーに基づいたコミュニケーションの大切さについて、考えてみましょう。	2020
4 保育の実践の場面から学ぶコミュニケーション2	25分	ある保育者が、子ども、保護者、保育者同士など、さまざまな人たちと関わっていく場面をみていきます。これらの場面を通して、保育におけるコミュニケーションとマナーのあり方について、考えていきましょう。	2020



児童福祉

こどもの発達

考える力・意欲・関わる力が育つ保育 かなちゃんの0歳から3歳までの成長記録より

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

指導：東京家政大学ナースリールーム 主任 井桁容子 撮影協力：東京家政大学ナースリールーム

この作品を通して、子ども一人ひとりが安心して生活できる環境を保育者が保障し、子どもの育ちを急ぐことなく、子どもの力を信頼していい時間の積み重ねを心がけていくことが、『考える力』『意欲』『関わる力』『優しさ・思いやり』が育つということにも確信がもてることでしょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 一人遊びから見える育ち	53分	● 生後6か月～10か月 ● パズルボックス (10か月) ● リング入れ・引出し (1歳1か月) ● 砂場 (板遊び・シーソー) (1歳6か月) ● 散歩・ぶらぶら (1歳11か月) ● チャレンジャー (2歳2か月) ● シーツなおし (2歳8か月) ● コルク積み木 (3歳10か月) ● 紙あそび ● 1本橋	2012
2 かかわりの育ち	67分	● 取り合い ● おやつ ● 噛みつき ● トラブル (だめ) ● おどけ ● とことんあそぶ ● もういいかい ● トラブル ● 体操遊び ● 卒園式ごっこ	2012



特別支援教育

0歳児のあそびと保育者の役割 - 0歳児後半 (はいはい・一人歩き) 期 -

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

指導：東京家政大学ナースリールーム 主任 井桁容子 撮影協力：東京家政大学ナースリールーム

保育者は、一人ひとりの発達過程を見通しながら、乳児自身が求めているものへの共感とタイムリーなサポートや提案、さりげないリードができることが重要です。一人の乳児のあそびを追いながら、保育者のあそびの援助について学んでいきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 楽しさの共有	27分	● 積み木あそび ● ふれあいあそび ● あるきはじめ ● ばあ	2011
2 遊びの工夫と配慮	29分	● ぞうり ● きんぎょが逃げた ● どっちにあるかな ● 外あそび (砂場・三輪車)	2011



0歳児保育 あそびの中で乳児は学ぶ

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

指導：東京家政大学ナースリールーム 主任 井桁容子 撮影協力：東京家政大学ナースリールーム

保育者は、その専門性として、乳児ひとり一人の育つ力を信頼しそれぞれの発達過程に丁寧によりそいながら、あそびや生活環境を工夫して、乳児自信の知りたがっていること、感じたがっていること、学びたがっていることに応じていく関わりや環境を保護してかなければなりません。この作品では、おもちゃや環境設定のあり方、人とのかかわりが豊かに育つ保育について学びます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 物とのかかわりの中で学ぶ	25分	乳児は、遊んでもらう存在ではなく、安心して過ごせる環境においては、発見し工夫し学びながら自分で遊ぶことのできる力をもっていることに気付かされます。	2009
2 人とのかかわりの中で学ぶ	40分	人間形成の基礎になる乳児期の人とのかかわり合いは、保育者との安定した信頼関係を基盤にして、ひとり一人がのびのびと自己発揮していく中で、豊かに育っていきます。	2009



2歳児保育 やさしさが育つとき

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

指導：東京家政大学ナースリールーム 主任 井桁容子 撮影協力：東京家政大学ナースリールーム

2歳児の保育中に偶然起こったトラブルや、保育中の自然な子ども同士のかかわり合いや遊びに視点をあて、保育者のていねいなまなざしとかかわり、やさしさや答えを決していそがないという姿勢が重要であるということを知ります。

タイトル	時間	内容	制作年
1 「イヤ」「ダメ」への保育者の対応	24分	● 誤解 ● たべちゃった ● 真実 ● かたづけ ● だめ！いいよ ● 間違えてるよ	2008
2 友達との関係が育つとき	31分	● 友達の思いを受け入れる ● おひなさまごっこ ● おもいやり ● 散歩	2008



乳幼児へのまなざし

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

指導：東京家政大学ナースリールーム 主任 井桁容子 撮影協力：東京家政大学ナースリールーム

この作品に登場する子どもたちの育ちとあそびの中には、キラリと光る宝物がちりばめられています。そのひたむきな姿を「ていねいなまなざし」で観るとき、子どもって観れば観るほどおもしろいという視点、保育の仕事の魅力をたくさんみつけることができるでしょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 一人あそびへのまなざし	31分	乳児がひとりで黙々とあそんでいるときに、「ていねいなまなざし」でその時間を共有してみると、驚くほどの集中力やあそびの意図があることに気づかされます。この巻では、乳児のあそびが大人に依存した物だけではなく、その子なりのこだわりや意図や目的をもった主体的なものであり、乳児には驚くべき能力があることに気づくことができるでしょう。	2007
2 集団あそびへのまなざし	32分	集団保育の最大の長所は、自分以外の仲間の感性や創造性に触れてその楽しさを共有できることにあります。この巻では、一人の保育者のまなざしに添って記録されたありのままの保育実践の様子から、保育者の役割やことばかけ、子どもの行動の意味付けなど乳幼児保育のなかの複数で係わり合いながらあそびが展開する様子を観ることができます。	2007
3 いたずらっ子は発見の王様	27分	子どもの行為を大人たちが「いたずら」と見るときの視点の中心にあるものは、「困った行為」だから「やめさせて教える」ということが多いようです。ある日、毎日のように水道に張り付いて離れない1歳児の行為を「ダメ！」「やめなさい！」と止める前に何がそんなにおもしろいのかをよく見てみようという思いから保育をしながら映像に収めました。	2007



21世紀型の保育実践

監修・指導：湘南ケア アンド エデュケーション研究所 所長 増田まゆみ（元 東京家政大学 家政学部児童学科 教授）
あかみ幼稚園園長 中山昌樹

認定こども園であるあかみ幼稚園では、「21世紀型の保育実践」を掲げて、子どもたちが豊かに育まれる環境を作り出していく努力を続けています。このシリーズでは、あかみ幼稚園が行っている保育の実践“遊び保育”を中心に保護者、地域の人々とかかわりの中で一緒に作り上げる保育の取り組みについて3作品に分けてご紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 遊び保育の実践	53分	子どもの育ちや学びに応える、古くて新しい保育実践のあり方を説明します。また想像力豊かな“遊び”が自発的で自律した子どもたちを育てる、“遊び保育”の様子を2人の先生方が解説します。 ※「遊び保育」の紹介では、監修者の解説音声の有無を選択することができます。	2014
2 協働する保育 ～保護者・地域と共に	45分	園で行われている行事への積極的な保護者の参加やワークショップ、勉強会を開催するフリースペースでの活動を紹介します。子どもの成長と一緒に喜びあえる場の提供が、子育てを楽しみ、親として学び自立することにつながる様子を説明します。	2015
3 協働する保育～生活編	53分	0歳から5歳までの子どもたちが生活する園の一日をデイリープログラムに沿いながら、3人の現場で働く先生方が解説します。室内や屋外での遊び、その際に生まれる異年齢との触れ合い、身支度や動物のお世話など、子ども自らが自分の生活を作り出す力が育まれていく様子をご覧ください。	2018



環境構成の理論と実践

第1巻監修・講義：東洋大学教授 高山静子 / 第2巻監修：一般社団法人 G3 保育環境研究会

今、子どもたちの豊かな遊びと生活を支えるために保育環境の重要性が言われています。では、なぜ保育環境が大切なのでしょう？ それは、子どもが自律的に行動し、創造的な活動を展開するには、環境構成が不可欠であること、そしてその環境を構成するのは保育者の責務であるからです。この作品では、環境構成の意義や方法など環境を良くするために大切な事項について解説します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 保育の環境づくり ～環境構成の基本を学ぶ～	29分	● 環境構成の意義 ● 環境構成とは何か ● 環境構成の方法 ● 子どもの姿から環境をつくる ● 改善のための園内研修の例	2019
2 実践編	29分	1. 遊びの環境 ・ 保育室の環境 ・ 園庭の環境演習 2. 生活の環境 ・ 食事～午睡場面（1歳児の一人の子どもを中心に） ・ 食事～午睡場面（2歳児のクラス全体） ・ その他の生活の環境 ※保育シーン 解説ナレーション ON/OFF あり・なし	2019



保育の内容

赤ちゃんとの出会いと関係づくり

監修：関東学院大学 教育学部 教授 土谷 みち子、関東学院大学 看護学部 教授 坂梨 薫、山本助産院 院長 山本 詩子

このシリーズは、妊娠期から出産、そして子育てと親と子の愛着の形成を中心に生後1年までの母と子、そして地域の子育て支援施設や保育所・こども園との関わりの様子を撮影し、今後の育児に役立てていただくことを目的として企画されました。妊娠期から出産直後、子育てによる様々な戸惑いや疑問について助産師と保育士のキャラクターがその疑問に答えてゆく構成となっています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 妊娠期・出産準備	20分	● 妊娠期について ● ママと赤ちゃんとの出会いと関係づくり～「話しかけ」と「応答」 ● 「健康管理」「子育てチーム結成」 ● 育児休業制度 ● お世話体験会 ● 出産準備 ● パースプランを作る	2021
2 出産	31分	● 出産について ● 分娩（出産）の種類 ● ママと赤ちゃんとの出会いと関係づくり～「アイコンタクト」と「スキンシップ」 ● 赤ちゃんの五感 ● 母子同室について ● NICU ● 産後の振り返りワーク ● 「マタニティブルー」と「産後うつ」の違いと対処 ● パパの「産後うつ」 ● 子育て支援拠点の利用	2021
3 乳児期の子育て ～自宅・地域・保育施設～	54分	1. 出産後の親と子の生活（授乳・ふれあい遊び・親子の関係づくり） 2. 地域の子育て支援施設の見学と利用（子育て支援ひろば・保健センター・保育所） 3. 遊び体験のひろがりや自信（個性と自己肯定感） 4. 毎日の生活と遊びで大切にしたいこと ● 乳児から幼児の生活とあそびで大切にしたい8つのポイント ● 初めてママになった方へのメッセージ～エンディング	2022



こどもの保健

児童福祉

保育者養成校における子育て支援活動 —親子を繋ぐきっかけ作り—

監修・企画：聖徳大学大学院 教授 藪中征代、聖徳大学短期大学部 教授 近内愛子

「子育て支援」とはどのようなものなのでしょうか。聖徳大学短期大学部保育科の学生たちは、地域の施設の支援を受けながら一年間にわたり、少人数のグループに分かれて、主体的に子育て支援活動を行いました。この活動の記録を通じて、子育て支援とは何か、そして保育者養成校と地域の子育て支援を実践している施設（本作品では幼稚園を取り上げています）との協働の姿などについて紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 学内授業 ～春学期フィールドワーク	30分	事前学習と討議によって子育て支援に関する知識を身に付け、地域の園の子育て支援に部分的に参加する形でフィールドワークを行い、その活動を振り返ります。	2017
2 秋学期フィールドワーク ～学修のまとめ	30分	学生たちはより能動的に企画したフィールドワークを行い、「わたしたちができる子育て支援」について、また保育者として子どもや保護者と関わるための糧となるよう、考えをまとめていきます。	2017



こどもの発達

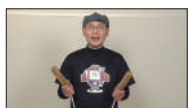
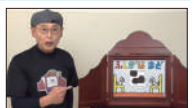
特別支援教育

懐かしくて新しい紙芝居コミュニケーション～演じてみよう！紙芝居～

監修・指導：清泉女学院短期大学 准教授 塚原 成幸

このシリーズは、紙芝居の基礎知識から、実際に紙芝居を演じる時に必要な技術、実演で大切な3つの表現『声』『間』『抜き』の実演を見ながら、また一緒に練習しながら身につけてもらうことが出来ます。紙芝居に対する疑問や不安を一気に解消し、紙芝居をもっと好きになってもらうために制作されました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 紙芝居の基本編	30分	● 紙芝居の基本知識 その1「紙芝居はどこで始まったの？」 ● 紙芝居の基本知識 その2「これから紙芝居を読みます」は正解？ ● 紙芝居の基本知識 その3「紙芝居の舞台は必要？」 ● 紙芝居実演のイロハ ● いろいろな発見、気づきについて ● 紙芝居の種類	2022
2 紙芝居実演編	35分	● 紙芝居実演の3つの大切な表現『声』『間』『抜き』 ● 『声』について ● 『間』について ● 『抜き』について ● 紙芝居実演『まんまるまんまたんたかたん』 文：荒木文字 絵：久住卓也	2022



保育の1日シリーズ 関東学院六浦こども園の1日

監修：国立法人お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所 教授 宮里暁美

*解説ナレーションあり・なし

この作品は、保育者の出勤から退勤までの1日の仕事の流れを、子どもや保護者、同僚との関わり合いを通して見ていきます。保育現場の基本的な流れだけでなく、園の特色や取り組みについても見ることができ、教育実習前の事前学習として、現場で働く保育者の方の保育の参考として利用できます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 0、1、2歳児編	30分	▼一日のスケジュール ・先生の出勤 ・環境設定 ・登園 ・朝の職員の前挨拶 ・自由活動 ・朝のおやつ ・自由活動 ・『てんらん会』 ・昼食 ・お昼寝 ・環境設定 ・おやつ ・自由活動 ・お迎え 保護者対応 ・降園 ・環境設定	2019
2 3歳児編	30分	▼一日のスケジュール ・先生の出勤 ・環境設定 ・登園(2号認定) ・朝の職員の前挨拶 ・登園(1号認定) ・自由活動 ・クラス活動 ・『てんらん会』 ・昼食 ・自由活動 ・帰りの集まり(1号認定) ・お昼寝(2号認定) ・時間外保育(1号認定) ・降園 保護者対応 ・環境設定 ・降園(スクールバス) ・おやつ ・帰りの集まり ・年少組ミーティング ・降園	2019
3 5歳児編	30分	▼一日のスケジュール ・先生の出勤 ・環境設定 ・登園(2号認定) ・朝の職員の前挨拶 ・登園(1号認定) ・自由活動 ・『てんらん会』 ・クラス活動 ・防犯教室 ・クラスの集まり ・昼食 ・自由活動 ・アクシデントへの対応 ・帰りの集まり ・降園 保護者対応(1号認定) ・環境設定 ・おやつ ・ミーティング ・降園	2019



生活・遊びを通して学ぶ保育 満1歳以上満3歳未満の園児の保育内容

監修・副音声解説：東洋英和女学院大学 人間科学部 保育子ども学科 講師 佐藤浩代
認定こども園 捜真幼稚園 園長 寺田千栄

*副音声解説あり・なし

1歳児と2歳児が、生活・遊びを通してどのようなことを考え、学んでいるのか、みていきましょう。そして、幼保連携型認定こども園教育・保育要領と保育所保育指針で示されている満1歳以上満3歳未満の園児の保育の内容への理解を深めていきましょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 1歳児編「1歳児クラスの1年間の生活と遊び」	60分	4月の入園時には初めての園の生活に不安になり、泣いたりすることもあった1歳児クラスの子どもたちも、1年間の生活・遊びを通して心身ともに著しい成長・発達を遂げていきます。保育者は月齢の違いなどから発達に幅のある1歳の子どもたちに寄り添いながら、ていねいに関わります。	2018
2 2歳児編 前編「2歳児クラスの1日」	60分	2歳児クラスの1日の生活を、時間の流れに沿ってみていきます。2歳になり、身の周りのことがずいぶん自分で出来るようになりました。友だちや保育者とのコミュニケーションもスムーズにとれるようになっていきます。この時期の園生活のすべてが、子どもたちにとって総合的な学びになっていると言えます。	2018
3 2歳児編 後編「日常の遊びの場面から」	60分	2歳児クラスの日常におけるさまざまな遊びの場面をみていきます。社会性のめばえ、自然への親しみ、問題解決への工夫や友だちと協力する姿などがみられるようになります。時にはけんかも起こりますが、そうしたことから子どもたちは何を感じ、考えているのでしょうか。	2018

主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ

監修・副音声解説：四季の森幼稚園 園長/玉川大学 教育学部 教授 若月芳浩

*副音声解説あり・なし

この作品では、神奈川県横浜市の「四季の森幼稚園」での教育・保育、主に自由遊びの時間における様々なエピソードを紹介します。幼稚園教育要領などで示されている、「主体的・対話的で深い学び」について考えていきましょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 3歳児編「遊びの中から芽生える学び」	48分	3歳児の園での毎日には、ごっこ遊び、遊ぶことの喜び、仲間との生活の充実感など、発達に必要な経験が日々盛り込まれています。日々の遊びの中にどれだけ深い意味があるのか、遊びの中から芽生える学びが、どのような場面にあるのか、注目しながら見てみましょう。	2017
2 4歳児編「人・モノ・コトとの関わり」	41分	3歳の時にたくさんの遊びを経験してきた子どもたちは、4歳になって多くの人と関わり多くのモノと関わり様々な出来事と関わっていきます。新しいことへの発見や、挑戦する姿も見られます。それを支える保育者の関わりも重要です。	2017
3 5歳児編「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」前編	51分	5歳児編は前編と後編の2巻にわたり、幼稚園教育要領等で示される「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」に関連した姿を見ていきます。	2017
4 5歳児編「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」後編	50分	5歳児の遊びの場面には、たくさんの熱中・没頭する時間があり、生活を共有する仲間たちとの様々な環境への関わりがあります。そうした遊びを日々継続していくことが、主体的な学び、対話的な学び、そして深い学びになっていきます。5歳児のエピソードを通して「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」がどのような教育・保育の中で実現されていくか、そのプロセスを見ていきましょう。	



遊び保育の実際

企画編集：東京学芸大学 名誉教授 小川 博久、東京都市大学 人間科学部 教授 岩田 遵子

＊解説音声・解説字幕あり・なし

「遊び保育」実践における保育者の援助は、複数の子どもたちを相手にしなければならないため容易ではありません。子どもたちが同時並行的に展開する遊びを、適確に見取り、援助する「方略」が小川博久が提唱する「遊び保育論」です。この作品は「遊び保育論」を実践している園の実際の保育場面を提示しながら、「方略」を解説します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 0、1、2歳児	46分	保育場面の要点には、両監修者によるテロップ(字幕)が入ります。	2020
2 3歳児	57分	保育場面の要点には、監修者による音声解説が入ります。	2022



さまざまな保育の職場(保育教諭) — 男性保育者の仕事を通じて —

監修：玉川大学 教育学部 教授 若月芳浩

この作品では、代表的な保育者の現場である、認定こども園、保育園、幼稚園、そして児童福祉施設などでの仕事の様子を、男性保育者の活躍を通して紹介しています。インタビューでは、現場で働く男性たちが、どのようにして保育の道を志し、働いていく中で何を感じたかを語ってくれます。

学生の皆さんが就職について考える時、きっと助けになることでしょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 認定こども園・保育園	45分	●認定こども園 ●保育園	2013
2 幼稚園・児童福祉施設	45分	●幼稚園 ●児童福祉施設 ●インタビュー 保育の現場で働く男性たちの声	2013



続・保育者を目指すあなたへ 幼稚園教育実習編

監修：矢切幼稚園 園長 藤樫道也

保育者をめざす学生にとって、幼稚園教育実習は、学校での講義だけではわからない幼児教育の現場を体験することのできる、絶好の機会です。この作品では、実習生の実際の活動の様子を通して、教育実習を多角的にとらえ、理解を深め、保育の現場を擬似的に体験することができます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 子ども・保育者・保育環境から学ぶ	30分	教育実習生の一日の活動を通して、子ども・先輩保育者・保育環境それぞれからの学びのポイントを見ていきます。	2014
2 責任実習の実際	40分	ある実習生が2週に渡り、同じ製作活動を2つの異なる年齢のクラスで責任実習として行います。実習のシーンでは解説を極力省き、実習後の振り返りのシーンで活動を総括するという構成になっています。	2014

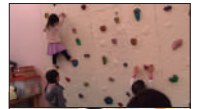


続・実践に学ぶ幼児の保育 認定こども園編

監修：玉川大学非常勤講師・和泉短期大学非常勤講師 佐藤 浩代、認定こども園 捜真幼稚園 園長 寺田 千栄 / 副園長 岡野きよみ

『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』の重要なテーマを、認定こども園での幼児の保育の実際の場面を通して学びます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 認定こども園における教育および保育の基本	30分	認定こども園での一日の流れを通して認定こども園の概要を学び、認定こども園での教育および保育の基本についても、園での遊びと生活の場面から学びます。	2016
2 遊びの場面から読み取る5つの領域	45分	認定こども園でのさまざまな遊びの場面から、5つの領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)を総合的に読み取ってみましょう。	2016

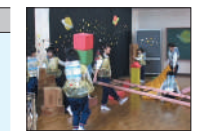


幼児の運動遊びの実践 ～遊具・身体表現・リズム遊び～

企画・監修：学校法人高岡第一学園 幼稚園教諭・保育士養成所 指導：学校法人高岡第一学園 幼稚園教諭・保育士養成所 所長 石澤宣子

子どもの本来の遊びを保障することを目指して、数多くの実践の積み重ねによって体系化し、遊びの面から総合的な保育の在り方を確立した運動遊びの実践例です。子どもが運動遊びを通して、心も身体も、健やかに、のびのびと育っていく姿を通して、「保育と遊び」について学んでいくことができます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 3歳児編	45分	●運動遊びについて ●どんぐりになって遊ぼう ～身体表現遊び～ ●鬼ごっこで遊ぼう ～集団による運動遊び～ ●カエルになって遊ぼう ～遊具・器具を使って遊ぶ～ ●動物園に行こう ～リズムカルな表現遊び～	2008
2 4歳児編	45分	●いろいろな泳ぎ方を楽しもう ～身体表現遊び～ ●ジャックと豆の木ごっこをしよう ～身体表現遊び～ ●ねこになって遊ぼう ～遊具・器具を使って遊ぶ	2008
3 5歳児編	45分	●蜘蛛になって遊ぼう ～身体表現遊び～ ●転がしドッジボールをしよう ～集団による運動遊び～ ●宇宙旅行に出かけよう ～遊具・器具を使って遊ぶ～ ●宇宙ステーションで遊ぼう ～遊具・器具を使って遊ぶ～	2008



感じたままに表現するピアノ奏法

監修指導・実演：オルガニスト・名古屋音楽大学 非常勤講師/前 名古屋女子大学 児童教育学科 准教授 吉田 文
作曲家・国立音楽大学 名誉教授 トーマス・マイヤー＝フィービヒ

『練習が大変なのでピアノは使いたくない』、『ピアノを練習する時間がない』などとピアノを弾くことをためらってしまう現場の先生や未来の保育者の皆さんの為に！

タイトル	時間	内容	制作年
1 自由な即興演奏の手法	57分	<ul style="list-style-type: none"> ●「自由な即興演奏の基本」 ●「二音を使った即興演奏『やまごやいっけん』(圭文社)」 ●「四音を使った即興演奏『おおきなかぶ』(福音館書店)」 ●「様々な奏法」 ●「自然にあるものを音や響きとして表現する」 ●「図形楽譜」 ●「絵本を使用した無調性の即興演奏『どのはな いちばん すきな はな』(福音館書店)」 	2023
2 子どもの動きを引き出す演奏手法	24分	<ul style="list-style-type: none"> ●「和音を使う即興演奏の基本」 ●「動きのパターン」 ●「既存の作品を応用する方法」(子犬のマーチ) 	2023

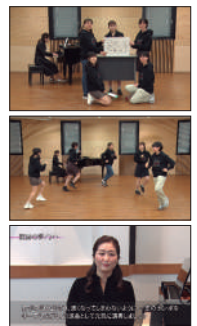


子どもと保育者に届けたい弾き歌いと音楽表現

監修：長野県立大学 健康発達学部 こども学科 准教授 安氏 洋子

このシリーズは、大学で保育を学ぶ学生たちが創作した音楽表現やレクリエーション活動の実践と、子どもと保育者そして保育者を目指して学ぶ学生たちに届けたい、声楽家の歌唱による幼児歌曲と唱歌、全18曲で構成されています。

タイトル	時間	内容	制作年
理論編 ～理論とレクリエーション～	40分	<ul style="list-style-type: none"> ●どんな色がすき(歌唱・マジックシアター) ●あしたははれる(歌唱・身体表現) ●めっきらもっきらどおんどん(絵本読み聞かせ・音楽表現) 	2022
1 春夏編(9曲)	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●おはながわらった ●朧月夜 ●あめふりくまのこ ●アイスクリームのうた ●さよならばつたちのほいくえん ●ね ●にじ ●はじめの一歩 	2022
2 秋冬編(9曲)	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと ●赤とんぼ ●紅葉 ●ママがサンタにキッスした ●北風小僧の寒太郎 ●どんな色がすき ●BELIEVE ●ぜんぶ ●ぼよん行進曲 	2022



豊かな音楽表現を育てる幼児のリトミック

監修：国立音楽大学 音楽文化教育学科 准教授 伊藤 仁美

*解説テロップあり・なし

この作品は、監修者が1年間にわたり、幼稚園の3、4、5歳児クラスの子どもたちと行った保育時間内のリトミックの実践を紹介し、1年間のリトミックの活動を通して、子どもたちが想像力を膨らませながら音楽を味わう姿、音楽表現力が育まれて成長していく様子、そして何よりも他者と共に音楽を分かち合い、共有して楽しんでいる様子を見ていきましょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 3歳児編	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノに合わせて歩く(即時反応) ・ドレミかいだん ・5月【うた】むすんでひらいて ・5月 音楽に合わせて自由に動こう～スカーフを用いて～ ・6月【絵本】うしろにいるのだあれ ・7月【うた】たなばたさま ・9月 だるまさん～オノマトベに親しもう～ ・10月【絵本】しっぽがびん ・11月【うた】大きな栗の木の下で ・12月【絵本】きんぎょがにげた ・1月 野菜の名前をリズムで叩こう ・2月 フラフープバス 	2018
2 4歳児編	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノに合わせて歩く(即時反応) ・ドレミかいだん ・4月【うた】あたまであくしゅ ・4月 スカーフを使った表現活動 ・5月 スカーフクレヨンで何描こう! ・6月【うた】大きな古時計 ・7月【うた】うみ ・9月 まねっこリズム ・9月 動物の動きをまねしてみよう ・9月【うた】にじ ・10月【うた】ぼくのミックスジュース ・11月 食べ物のリズムを叩こう、歩こう ・12月 ひもを使った表現活動 ・1月 アクセントを感じて表そう ・1月 ゴムひもを用いて電車ごっこ～しゅっぱつしんこう!～ ・2月【うた】ケンパであそぼう 	2018
3 5歳児編	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノに合わせて歩く(即時反応) ・ドレミかいだん ・にんじやのしゅぎょう～模倣あそび～ ・4月 音の高低 ・4月【うた】アルプス一万尺 ・5月【絵本】どん!～タンバリンを用いて～ ・6月 やさいのなまえをいってみよう ・7月【うた】おもちゃのチャチャチャ ・9月 トーンチャイム ・10月【うた】やきいもグーチャーパー ・12月【曲】ガヴォット ・1月【うた】あんたがたどこさ ・2月【うた】ドレミのうた 	2018



幼児のリトミック

監修・指導：こども教育宝仙大学 専任講師 伊藤仁美

幼児は、からだ全体を使って音楽表現することが大好きです。幼少期に、この「からだ全体で音楽を楽しみ、味わい、表現することの喜び」を知る経験をする中で、その先も豊かな表現意欲を持って、音楽に接する気持ちを育むことができるでしょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 リトミックの手法を学ぶ	48分	リトミック教育の理論と幼児教育学科専攻学生によるリトミックのデモンストラーションを収録しています。	2012
2 幼児教育の現場における実践	41分	監修者による幼稚園でのリトミック実践の様子を収録しています。	2012



幼児の身体表現 — 発達の視点によるダンス活動 —

監修・指導：こども教育宝仙大学准教授 松原 豊

幼児期のダンス活動に関してニーズに応えるための内容を収録しました。保育現場で子どもたちがダンス活動という新しい体験を楽しむことができ、コミュニケーションの力、豊かな表現力や創造性などが育つような保育実践に少しでもお役にたください。

タイトル	時間	内容	制作年
1 リズムスキル、コミュニケーションの発達とダンス～型のあるダンスを中心に～	30分	● 保育におけるダンス活動 ● 幼児期の発達とダンス ● 型のあるダンス・型のないダンス ● 「型のあるダンス」の実践例	2011
2 想像力、創造性の発達とダンス～型のないダンスを中心に～	30分	● 動きの分析～子どもの表現や動きを観る ● 想像力と創造性を引き出す ● 「型のないダンス」の実践例 ● 障がいのある子どもへの対応	2011



乳幼児期の砂遊び

監修・指導：同志社女子大学現代社会学部教授 笠間浩幸

砂遊びは子どもの発達に大きな役割を果たしています。保育所では8～9か月ほどの乳児たちが、人生における初めての砂との出会いを体験し、劇的な遊びの変化を見せていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 砂遊びから見る子どもの発達	40分	乳幼児期の砂遊びについて、いくつかの発達の視点を提起しながら、子どもにとっての砂遊びの意味と保育における援助のあり方について見ていきます。	2011
2 あいかの砂遊び — 5年11か月の記録 —	40分	同様の視点による、一人の女兒の11か月から6歳に至るまでの長期にわたる砂遊びの観察記録です。幼稚園・保育所におけるごく普通に見られる遊びの中に、子どもの発達と保育のポイントを探り出す貴重な作品です。	2011



保護者からのクレームを活かそう

監修・指導：筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 徳田克己

クレームや理不尽な要求などはなぜ起こるのか、その背景を理解し、基本的な対応の仕方などを学んでいきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 クレームの背景と対応	30分	● 保護者からのクレームの実態 ● 保護者との対応・対処のポイント ● 幼稚園・保育所の対策の実例	2009
2 クレーム対応の実践	30分	● 事例1（直感的に怒りをぶつけてくる保護者への対応） ・ 悪い例 ・ 良い例 ・ 先生による解説 ● 事例2（次から次へと心配事を訴える保護者への対応） ・ 悪い例 ・ 良い例 ・ 先生による解説	2009



地域で子育て支援 ファミリー・サポート・センターの取り組み

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 指導：青山学院大学 庄司 順一

この作品は「ファミリー・サポート・センター事業」の概要や役割を広く紹介するために制作されました。

タイトル	時間	内容	制作年
地域で子育て支援 ファミリー・サポート・センターの 取り組み	26分	「ファミリー・サポート・センター事業」は、平成6年（1994年）厚生労働省が育児に関する不安の解消や就労の支援を目的として制度化した事業のひとつです。これは地域住民同士による、子どもを一時的に預かることに関する相互援助システムをいいます。まだまだこの制度に対する誤解も多く、制度が正しく認知されていないのが現状です。	2009



家庭的保育 ～その役割と実践～

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所
指導：日本子ども家庭総合研究所 福祉臨床担当部長 庄司 順一（青山学院大学）

家庭的保育の基本的な部分を解説するとともに、実際に家庭的保育を行っている現場の一日の保育の様子を紹介しています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 家庭的保育を取り巻く状況とこれから	30分	● 家庭的保育の制度と歴史 ● 家庭的保育の環境 ● 家庭的保育とは？ ● 保護者インタビュー ● これからの家庭的保育	2008
2 家庭的保育という世界・その実践	30分	・ 登園 ・ 朝の会・お散歩 ・ 保育者インタビュー ・ 昼食 ・ お昼寝 ・ その間の作業 ・ おやつ ・ お散歩 ・ お迎え ・ 保護者インタビュー ・ まとめ	2008



保育のひだまり ―子どもに寄り添い育み育まれる保育―

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 指導：國學院大學幼児教育専門学校 野本茂夫

幼稚園には、障がいのある子どもやかかわりの難しい子どもなど、特別な支援を必要とする子どもがいます。園生活を通して、その一人ひとりの子どもの育ちが促されていこう、保育者はその子にふさわしい園生活のあり方を子どもと共に探求して行くことが必要です。そのためには、幼児一人ひとりを理解し、その特性に応じた適切な指導をしていかなければなりません。

タイトル	時間	内容	制作年
1 ダッコおしまい あそぼう	50分	●場面1 登園後の身支度 ●場面2 入園式と1学期回想 ●場面3 園庭でのダッコ ●場面4 園庭のままごとコーナー ●場面5 園庭でのスイカ割り ●場面6 年長うみの組で ●場面7 製作活動 ●場面8 タイヤブランコの遊び ●場面9 玉入れ、保育室を抜け出して	2008
2 さわっちゃだめだからね	50分	●場面1 年長組の始業式 ●場面2 登園後の身支度 ●場面3 身支度よりも遊びたい ●場面4 仲間からのかかわり ●場面5 仲間への関心 ●場面6 仲間からの関心 ●場面7 自由画 ●場面8 さわっちゃだめだからね ●場面9 パイパイ	2008
3 かなしいんだけど	50分	●場面1 お泊まり保育 ●場面2 夏休み明けの保育 ●場面3 遊びへの参加 ●場面4 パイパイとスイカ割り ●場面5 運動会 ●場面6 誕生会 ●場面7 卒園を間近にして ●場面8 製作活動	2008



幼稚園教育実習

監修・指導：山梨学院短期大学（甲府市）

ある養成校の1年次前期（実習）と2年次後期（実習）の実習を通して、子どもと出会い、共に成長していく様子を学びながら、幼稚園教諭を目指す人たちが実りある教育実習になるように制作しました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 子どもと出会う感動	30分	学生が最初に体験する教育実習を通して、はじめて子どもとかかわる姿を紹介します。	2007
2 子どもとともに深める	30分	一年次で体験する実習は、幼稚園を知る、子どもを知る、保育を知ることが目標でしたが、2年次で体験する実習は、幼稚園教諭の専門性や役割の理解をより深く、実際に子どもたちの保育を行って、教諭としての態度や指導技術を習得します。	2007



子どもを育む保育の環境

監修・指導：目白大学 増田まゆみ

乳幼児を取り巻くあらゆるものを環境ととらえ、子どもたちが健やかに成長・発達するためには、どのように環境を構成し、工夫すればよいのか、事例を交えながら、具体的に学習していきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 3歳未満児を中心に	30分	●遊ぶ ●おやつを食べる ●昼食を食べる ●眠る ●排泄する ●工夫のあれこれ	2005
2 3歳から5歳児を中心に	30分	●保育室とその周辺 ●自然の恵みとともに ●給食と午睡 ●ホールとその周辺 ●園庭 ●地域の人と共に	2005



保育士・幼稚園教諭になるために

監修・指導：東洋英和女子学院大学 大嶋恭二

保育所や幼稚園について、その基本や違いを理解するとともに、信頼される保育者になるために、保育所で働く保育士と幼稚園で働く幼稚園教諭のさまざまな仕事や役割を実際の場面を通して学んでいきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 保育所と幼稚園の違い	30分	●保育所と幼稚園の主な違い ●保育所保育指針と幼稚園教育要領の比較 ●保育所保育指針に基づく保育の実際 ●保育所における子育て支援の実際 ●幼稚園教育要領に基づく教育の実際 ●幼稚園における子育て支援の実際	2005
2 保育士の仕事と役割	30分	●出勤・朝の環境整備 ●登園・検温・混合保育室 ●おやつ<0歳児・2歳児> ●朝の会・みんなで活動 ●昼食の様子<3・4歳児> ●午睡・連絡帳の記入・ミーティング ●お帰りの会 ●降園・掃除 ●延長保育 ●退勤 ●園長のお話「保育士に求められる資質とは」	2005
3 幼稚園教諭の仕事と役割	30分	●出勤・朝の環境整備・幼稚園バスで登園 ●登園・受け入れ ●自由あそび ●クラス別活動<製作・園外活動> ●昼食の様子 ●食後の休憩・自由あそび ●お迎え・幼稚園バスで降園 ●降園後の仕事 ●園長のお話「幼稚園教諭に求められる資質と専門性」	2005



保育の安全と事故防止

監修・指導：埼玉県立大学教授 荻須隆雄

この作品は、保育における＜安全面＞にスポットをあて、映像を通して保育者の危険に対する感受性を高め、潜んでいる危険要因に気づいて、怪我や事故を未然に防ぐ行動力を身につけていくことを目的としています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 事故の発生要因とその対策	30分	●事故の定義と事故の発生要因 ●子どもの事故の実態(保育所・幼稚園) ●事故防止の取り組み ●保育所園長・保育士のお話 ●幼稚園園長・教諭のお話	2004
2 実践における事故防止のポイント	30分	●事故防止のポイント 園舎内、園庭、園外	2004



保育の内容

施設実習の予備知識

監修・指導：東洋英和女子学院大学 大嶋恭二

ある知的障害者更生施設での2人の実習生の実践の映像を通して施設養護について学習し、「施設実習」とはどんなものかを実習に臨む前に、施設に対する予備知識を正しいものにするとともに、施設そのものを理解し、心構えを固め、実習生の役割を学ぶことを目的としています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 施設実習の基本	30分	●施設養護とは ●施設実習の意義 ●施設実習の目的 ●施設実習の段階的内容 ●各分野の方々の話 1. 実習生を受け入れる施設の施設長 2. 施設の先輩保育士 3. 実習生を送り出す先生	2004
2 施設実習の実際	30分	●実習3日目 ●実習6日目 ●実習10日目	2004



こどもの保健

保育における家族援助

監修・指導：上智大学 網野武博

保育士が従事する児童福祉施設における家族援助のありかたや、ソーシャルワークを担うことになった保育士自らの家族援助のあり方などについて興味を持って学べるように構成してあります。

タイトル	時間	内容	制作年
1 家族援助の基礎知識	30分	●子育ての社会化 ●家族の機能と家族援助が必要となる背景 ●子どもの養育責任 ●保育におけるソーシャルワークとケアワーク ●家族をとりまく社会資源 ●家族援助の過程と方法 ●保育所における家族援助 ●まとめ	2003
2 家族援助の実際	30分	●地域子育て支援と家族援助	2003



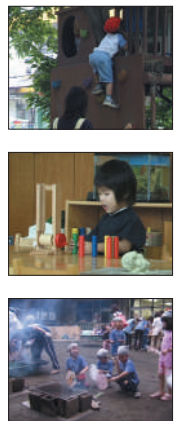
児童福祉

保育ゼミナール — 語りあい学びあう保育の世界 —

監修：東洋英和女子学院大学教授 高野陽、東洋英和女子学院大学助教授 森真理

このシリーズは、保育者を目指す人、そして現職の保育者がより能動的な学び手であり生活者であるために、「こんな時どうする」「あんな場合はどうする」と自問し、一人や仲間と思いめぐらす広場を提供する教材として構成し制作しました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 子どもの生活と安全な環境への配慮 ～見える危険・見えない危険を考えます～	30分	●見える危険は？ ●見えない(潜在している)危険は？	2003
2 子どもの遊びを探る ～子どもたちは何を楽しんでいるのか考えます～	30分	●子どもは何を楽しんでいましたか？ ●さらにどのようなかわりをしますか？	2003
3 子どもの生活と発達における学び ～子どもたちの発達と体験を考えます～	30分	●子どものどのような体験が見えましたか？ ●子どもにとってどのような体験でしたか？	2003
4 イベント(行事)の過程(プロセス)における学び ～イベント(行事)のための計画・準備・配慮を考えます～	30分	●この行事のためにどのような準備と配慮がなされているでしょうか？ ●子どもにとってこの行事がどのような思い出になっていくでしょうか？ ●この行事をもっと楽しいものにするためには、さらにどのような計画・配慮が必要だとおもわれますか？	2003



こどもの発達

特別支援教育

低年齢児の保育

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 総合指導：東洋英和女子学院大学 高野陽

1歳児と2歳児の保育を保育所保育指針「保育士の姿勢と関わり」にポイントをおき、ある保育所の1日の流れにそって子どもと保育士の関わりをそれぞれ紹介し、保育における健康上の留意点と事故防止についても解説しています。保育所における保育の環境についても紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 1歳児編	30分	●1歳児の健康上の留意点と事故防止についての解説 ●受け入れの様子 ●連絡帳の活用 ●おやつ準備 ●水遊び・着替え ●排泄・トイレの場面 ●午睡・検温 ●延長保育の申し送り	2002
2 2歳児編	30分	●2歳児の健康上の留意点と事故防止について解説 ●持ち物を決められた場所に入れる ●子ども同士のけんか ●衣服の着脱・清潔 ●おやつ・遊び ●排泄・午睡 ●遊具の後片づけ ●保育環境の紹介	2002



保育所の地域子育て支援

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 総合指導：東洋英和女子学院大学 高野陽

地域ぐるみで子どもを育てている保育所での実例を参考にしながら、「みんなで子育て・地域で子育て」を理念とする「地域子育て支援」とはどのようなものなのかを学んでいきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 地域子育て支援とは	30分	子育て支援が必要となった背景、子育て支援の内容や留意点などについてインタビューをまじえて解説しています。	2002
2 支援の実例	30分	地域や家庭における養育機能が変化する中で、地域に密着してきめ細かい子育て支援を行っている保育所の実例を紹介します。	2002



はじめての保育実習

監修：社団法人全国保育士養成協議会 指導：東洋英和女子学院大学 大嶋恭二

実習生を送り出す先生のお話や、受け入れ側の方のお話を交え、実際の保育実習の場面を通して、最低限身につけておかなければならない保育のこころく保育マインドとマナーの基礎を学んでいただくために制作しました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 保育のこころとマナー	30分	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育実習の意義・目的 ● 実習にのぞむ心構えとマナー ● オリエンテーションのポイント ● 送り出す側(先生)のお話 ● 受け入れ側(園長)のお話 ● 先輩保育士のアドバイス ● 児童福祉法の一部改正について 	2002
2 実習体験を通して学ぶ	30分	<ul style="list-style-type: none"> ● 実習1日目・2日目・7日目・10日目の様子 ● 挨拶の重要性・お辞儀の仕方・身だしなみのポイント・マナーについて等 ● 実習巡回指導 ● 実習の反省会 など 	2002



保育者を目指すあなたへ

監修・指導：玉川大学 文学部 助教授 藤樫道也

保育者を目指す人たちが、将来保育の現場に立った時、どのような仕事をして、どのようにかかわっていくのか頭の中ではわかっていてもなかなか実感できないのではないのでしょうか。

タイトル	時間	内容	制作年
1 ある幼稚園教諭の1日	30分	5歳児クラス担任(勤続3年目)の幼稚園での1日の活動を通じて仕事の流れ、子どもや保育者とのかかわりをみていただき、将来保育者を目指す人たちの未来の自分を体験していただけます。	2000
2 保育の中でのかかわり	30分	保育者が保育の現場で体験する子どもや保護者とのかかわり、保育者同士のかかわり、その他さまざまなかかわりを通じて、どのようにしてそれぞれの信頼関係を築いていくかを考えます。	2000



乳児保育の実際

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

乳児保育の実際を目で追いながら、乳児保育の流れや保育のキーポイントを自然に理解できるように構成されています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 乳児期前半編 (産休明け～生後6か月未満)	30分	産休明けから6か月未満の赤ちゃんを例に保育のポイント毎に解説します。	1999
2 乳児期後半期	30分	生後6か月の赤ちゃんたちを例に保育所の日課に沿って解説します。	1999



幼児の育ちと造形

監修：横浜美術館 美術学習部アトリエ課 三ツ山一志

子供たちが毎日幼稚園や保育園で愉しく生活する中で絵を描いたり、ものを作ったり素材に触れたり、自分でやってみたりする活動をとおしてこどもの内的な育ちと同時に、子どもが自分ですることや自分でできることを自覚する過程を考えます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 指導の流れとポイント	30分	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児の育ちとしての造形活動とは ● 描く素材～えのぐとクレヨン～ ● えのぐとかかわる活動 ● 教師(保育者)の7つの役割 	2000
2 いろいろな素材とのかかわり	30分	<ul style="list-style-type: none"> ● えのぐとかかわる活動 ● 紙とかかわる活動 ● 粘土とかかわる活動 	2000



実践に学ぶ幼児の保育

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所
総合指導：日本子ども家庭総合研究所 東洋英和女子学院大学 高野陽

幼児期は人間に必要な諸々の能力の基礎の大部分を身につける大切な時期です。それらの基礎的な力をそれぞれの子どもに合わせて育てる、又、引き出すのが保育者の役割です。実際の保育の現場をみて、そして考えてください。

タイトル	時間	内容	制作年
1 3歳を中心に	30分	保育園での生活の1日の流れにそって3歳の活動を中心に、5つの領域を念頭におきながらみてきます。	2000
2 4歳を中心に	30分	知的にも情緒的にも、体力的にもダイナミックな成長がみられる4歳を中心に、子どもと、そして保育者とが共に育ちあっていく活動の様子をみていきます。	2000
3 5歳を中心に	30分	小学校入学を間近に控えた5歳を中心に、活動の様子をみてきます。	2000



遊ぼうよ — ところを育む親子の関わり —

監修：社団法人全国保健センター連合会 総合指導：東洋英和女子学院大学 医学博士 高野陽

毎日の生活が子どもの遊び場。親子一緒に生活を楽しむことが「遊び」を確かにします。2歳の真美ちゃん、3歳の佳介君、それぞれの一日を見てみましょう。遊びを通して、心と身体が育っていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 2歳児編 真美ちゃんの1日	30分	2歳児は、赤ちゃんから幼児への過渡期。ことばの理解力や手先の器用さがぐんとアップしてきます。好奇心にあふれ、遊びも大きく広がるとき。あまエツ子、いたずらっ子、駄々っ子時代でもあります。	1998
2 3歳児編 佳介くんの1日	30分	3歳になるとお話が上手になって、想像力も豊かになります。親から離れての友達遊びもできるようになってきます。運動能力や体力がついてきて、お父さんの活躍の場も増えます。	1998



保育者へのあゆみ

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
指導：日本子ども家庭総合研究所 研究企画・情報部部长 庄司順一
東洋英和女子学院大学人間科学部人間福祉学科教授 医学博士 高野陽

子ども達と社会のパイプ役である保育者をめざす方々に、乳児院と児童養護施設での子ども達の生活の様子と、保育所における保育実習を紹介するものです。保育実習の教育映像であると同時に、実習生の受け入れ側である各施設での参考としてご活用頂ける内容です。

タイトル	時間	内容	制作年
1 児童福祉施設の紹介 ～乳児院・児童養護施設～	30分	早朝子供たちが目覚め始めます。愛情豊かな保育士達と子ども達の一日の始まりです。保育実習生達と子どもたちのかかわりを交えて、乳児院と児童養護施設のある一日を見てみましょう。	1997
2 保育実習の実際 ～保育所～	30分	保育実習は、オリエンテーションから始まっているといわれます。園長先生をはじめ先輩保育士達のアドバイスを受けながら、10日間にわたる保育実習がスタートしました。	1997



小さな冒険者のために

企画・監修：埼玉県立大学保健医療福祉学部教授 荻須隆雄、横浜国立大学教育学部教授/日本児童安全学会副会長 齋藤喜欠能、元杉並区立井草保育園園長 東間栢子

「事故とは何か（因果律、事故と災害）」、「事故発生のメカニズム（事故発生の要因、子どもの安全能力）」について、分かりやすく解説します。

タイトル	時間	内容	制作年
小さな冒険者のために	26分	長年、遊びの研究・遊具の開発に取り組んでこられた東間先生が、「安全教育的な進め方」について、事故を防ぐための観点から、「保育者」「園児」「環境」の三つの角度から解説します。次に「月かげ幼稚園」（東京都江東区）を訪ね、「遊びや運動の環境整備の工夫」を、園長の中西雄俊先生へのインタビューを交えて見ていきます。最後に「安全教育的な重要性（事故を予測する、ニアミスに注意せよ）」について荻須先生がお話します。	1996



保育所の一日

監修：埼玉県立大学保健医療福祉学部教授 荻須隆雄、玉川大学文学部教授 関口準

タイトル	時間	内容	制作年
保育所の一日	30分	「保育所と幼稚園の違い」について解説し、朝7時の登園から夜8時の延長保育終了までの保育の一日の流れを詳細に見ていきます。また子育て支援の一環としての「育児相談事業」について、実際に保育園で電話相談を担当されているみつばさ愛育園園長の上村恵子先生に、どんな相談が多いか、どのように対応されているかなどについてお聞きします。「エンゼルプラン」「地域での子育て支援策」における保育所の役割などについて、児童福祉専門の荻須先生がお話しします。	1996



楽しく食べる子

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所
 総合指導：医学博士・北陸学院大学人間総合学部教授 高野陽

日々の保育の中で食育に取り組んでいる保育の現場から「食育」の基本を学び、適切に実践していくために制作されました。

タイトル	時間	内容	制作年
楽しく食べる子	35分	●食育について ●規則正しい生活リズム ●食と健康 ●食と人間関係 ●食と文化 ●いのちの育ちと食 ●料理と食 ●0歳児・1歳児・2歳児の食育	2010



あかちゃんと離乳食

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所
 指導：日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部栄養担当部長 堤 ちはる、愛育病院栄養科科長 山本 妙子

この作品では、赤ちゃんの成長と離乳食との関連を視覚的に分かりやすく表現し、離乳食全般にわたって学ぶ事ができます。また、離乳食の開始・進行については、平成19年3月に厚生労働省より公表された、授乳や離乳の進め方の目安を示す「授乳・離乳の支援ガイド」に基づいた内容となっています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 進め方の基本と食生活	30分	●離乳の準備と心構え ●離乳食の進め方の目安 ●食物アレルギーについて	2007
2 離乳食づくりのポイント	30分	●生後5～6か月ごろ ●生後7～8か月ごろ ●生後9～11か月ごろ ●生後1歳～1歳6か月ごろ ●いろいろなおべいふード	2007



たのしい離乳食

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

離乳開始から離乳完了期までの4つの期間にあわせた離乳食のすすめ方を紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
たのしい離乳食	40分	●離乳初期・1回食～2回食のすすめ方 ●離乳中期・2回食のすすめ方 ●離乳後期・3回食のすすめ方 ●離乳完了期・家族と一緒に3回食を ●離乳食作りにチャレンジ ●合理的な離乳食作り	1997



子ども家庭支援センター

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 指導：日本子ども家庭総合研究所 福祉臨床担当部長／青山学院大学 庄司順一

調布市にある「子ども家庭支援センター」を訪ね、施設が母親たちの楽しい子育てに実現に、どのようにかかわり合っているのかを紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
子ども家庭支援センター	30分	「子ども家庭支援センター」の支援システムと必要性をインタビューをまじえて紹介します。 ●今なぜ、子育て支援が必要なのか ●注目される子ども家庭支援センター ●子ども家庭支援センター「すこやか」の紹介	2004



応答的保育

企画・監修：第一福祉大学教授・文学博士／日本保育学会理事・日本福祉心理学会理事 宮原和子
 第一福祉大学教授・日本福祉心理学会常任理事 宮原英種

「応答的保育」とは、子どもが環境に働きかけたとき、その環境から返ってくる「応答」を重視する保育です。「応答的保育」は、20年にわたる研究と実践の成果として生まれました。知的好奇心をはじめ、子どもの自発性や意欲、知的能力、さらには、まわりの人に対する信頼感を育てる保育、それが「応答的保育」です。

タイトル	時間	内容	制作年
1 理論編	34分	●「応答」とはなにか？ ●応答的保育を支える発達理論～相互作用説 ●「おもちゃや物による応答」～おもちゃや物による応答とはどんなことか ●「ことばによる応答」～『発問』『過程』『受容』 ●「心の応答」モデル ●「心の仕組み」・「応答的保育」によってながつくられるか ●人間性回復としての「応答的保育」 ●世界幼児教育会議(O.M.E.P.) ●世界の子どもたち	2004
2 実際編	40分	●「応答的保育」とことばの応答 ●『発問』～2つの種類 ●『受容』の仕方～「くり返し」「確認」「賞賛」「感情移入」 ●『過程』と子どもの思考～「明瞭化」「示唆」「発想の転換」「補足」と「リード」 ●「心の応答」～子どもと共感を共有する ●応答的保育研修会 ●先生の応答的対応の比較～初心者とベテランの先生 ●家庭における「応答的教育」～お父さんと子ども、お母さんと子どもの応答的コミュニケーション ●「ズレ」の問題 ●子どもの遊びと「ズレ」 ●「日常性の保育」としての「応答的保育」 ●21世紀と子どもの保育	2004



子どもの保健

保育看護 — 病児・病後児保育 —

監修：全国病児保育協議会 指導：ほあし子どものこころクリニック副院長 帆足暁子



病児保育の基本的知識をわかりやすく解説し、実践の場面を通して保育看護のポイントと注意点、あそびの計画・展開や工夫、保護者対応などを具体的に紹介しています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 基礎知識編	42分	● 病児・病後児保育の概念と理念 ● 病児・病後児保育の概要 ● 病児・病後児保育の対象となる病気や病状 ● 病児・病後児保育における保育看護 ● 病児・病後児保育の特徴 ● 医療・保健・福祉との連携 ● 事故防止と安全対策	2010
2 実践編	23分	● 病児保育室のデイリープログラム ● 1日のプログラムに沿って ● 保育看護の専門性	2010

乳幼児健診の手引き

【第1巻～第3巻】(2017年5月一部改訂) 監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所
指導：日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部部长 高野陽、日本子ども家庭総合研究所 研究企画・情報部部长 庄司順一
【第4巻】 監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
指導：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育クリニック院長 佐藤紀子、東洋英和女学院大学大学院講師 益邑千草

このシリーズでは、新しい健診のありかたに注目し、保健師・看護師としてどのような対応が求められているのかを、実際の集団健診・個別健診の現場を通して紹介していきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 3～4か月児健診(集団健診)	30分	● 受付・オリエンテーション ● 予防接種・計測・問診 ● 診察・個別相談 ● カンファレンス	1997
2 1歳6か月児健診(集団健診)	30分	● 受付・問診・計測 ● 診察・歯科指導 ● 栄養指導・心理相談 ● カンファレンス	1997
3 3歳児健診(集団健診)	30分	● 歯科健診 ● 問診 ● 診察 ● 栄養相談 ● 心理相談 ● カンファレンス	1997
4 医療機関委託の個別健診	30分	● 乳幼児健診の概要 ● 3～4か月児健診 ● 1歳6か月児健診 ● 3歳児健診	2017



子どもの保健・実習

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 総合指導：医学博士・北陸学院大学人間総合学部教授 高野陽

子どもの保健の授業には医学・看護学の知識なども含まれるので、実習に臨む際には、実習の内容や手順などを予習しておくことが望まれます。このシリーズはその事前学習と復習のための教材です。映像で学ぶことで実習に臨む心構えができ、スムーズに実習に取り組みます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 心とからだの健康と保健	42分	● 実習の目的と準備 ● 子どもの保健と環境 ● 幼児への適切な対応	2011
2 子どもの疾病と適切な対応その1	23分	● 感染症の予防と対策 ● 主な感染症 ● 出席停止期間 ● 予防接種 ● 病児・病後児への対応	2011
3 子どもの疾病と適切な対応その2	28分	● 体調不良や傷害が発生した場合の対応 ● 傷害が発生した場合の対応 ● 応急手当の実際 ● 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 ● 慢性疾患 ● アレルギー性疾患 ● 障がいのある子どもへの適切な対応	2011
4 事故防止及び健康安全管理	26分	● 事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組 ● 救急処置及び心肺蘇生法の習得 ● 災害への備えと危機管理 ● 心とからだの健康問題と地域保健活動	2011



乳幼児精神保健

総監修：東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科総合保健看護学専攻 小児・家族発達看護学教授 廣瀬たい子

この作品では、2組の家族を妊娠中から生後1年までを取材しました。その間の赤ちゃん和家人の成長発達を看護職と臨床心理士が、親子の関係性の視点から、つまり、乳幼児精神保健の視点から観察し、時には支援を提供しました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 妊娠中から生後1か月まで	32分	● 妊娠中から生後1か月までの育児支援について ● 取材対象家族プロフィール紹介 ● 出産前の聞き取り ● 乳幼児精神保健の観点からの考察 出産前 ● 生後1か月の聞き取り ● 乳幼児精神保健の観点からの考察 生後1か月 ● まとめ	2011
2 生後1か月から6か月まで	40分	● 生後1か月から6か月までの育児支援について ● 取材対象家族プロフィール紹介 ● 生後2か月の聞き取り ● 乳幼児精神保健の観点からの考察 生後2か月 ● 生後3か月の聞き取り ● 乳幼児精神保健の観点からの考察 生後3か月 ● 生後4か月の聞き取り ● 乳幼児精神保健の観点からの考察 生後4か月 ● 生後6か月の聞き取り ● まとめ	2011
3 生後6か月から1年まで	30分	● 生後6か月から1年までの育児支援について ● 取材対象家族プロフィール紹介 ● 乳児期後半における育児支援 ● 粗大運動の発達 ● 操作の発達と養育者との共有体験 ● 離乳食の支援 ● 母乳について ● きょうだいがいる場合の支援 ● あかちゃんの「ぐずり」 ● 母親の不安により添う ● 環境を支援する ● 発育・発達について ● 生活リズムの支援 ● 具体的に睡眠・覚醒を確認する ● 予防接種・健診 ● 親子の関係性支援 ● 父親・きょうだいとの関係性支援 ● 1年をふりかえって ● まとめ	2011



児童福祉

児童養護施設における施設実習

第1巻・第2巻監修：こども教育宝仙大学こども教育学部准教授 藤田恭介

第3巻監修：社会福祉法人聖友ホーム 聖友学園 若松弘樹、社会福祉法人扶助者聖母会 星美ホーム 立入聡、NPO法人 チャイボラ 大山通

第1巻と第2巻では、一般的なスタイルの、大きな建物で大勢の子どもたちが集団で生活する児童養護施設での実習に入った2人の学生の活動の様子を見ていきます。第3巻では、これから実習先としても増えていくと考えられる小規模化した児童養護施設の概要と、実際の子どもの生活や職員の仕事を見ていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 実習の1日 前編	35分	●施設実習の概要 ●オリエンテーション ●実習開始～午後の自由遊び ●おやつ～夕方の自由遊び・学習 ●夕食～就寝 ●夜の振り返りと宿直	2017
2 実習の1日 後編	35分	●起床～朝の支度 ●登園～環境整備など ●グループホーム見学 ●巡回指導 ●昼食～退勤 ●全体の振り返り	2017
3 児童養護施設の小規模化 編	40分	●児童養護施設の小規模化が求められる背景 ●小規模化のさまざまな形 ●小規模化のメリットと課題 ●小規模化した施設の1日 ●インタビュー ●児童養護施設への理解と人材確保を助ける取り組み「チャボナビ」の紹介	2023



子ども虐待における家族支援

監修：日本女子大学人間社会学部教授 林浩康

『ファミリーグループ・カンファレンス』とは、本人親子とその親族、知人などが主体的に問題解決の方法を話し合う活動です。この作品では、模擬事例のロールプレイを通して、この活動の意義や目的を学び、虐待の問題解決のために何が出来るのか考えていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 準備編	30分	●ファミリーグループ・カンファレンスとは ●模擬事例 あらまし ●模擬事例 シーン1 対立から始まる関係 ●模擬事例 シーン2 保護者へのファミリーグループ・カンファレンスの提案 ●模擬事例 シーン3 子どもへのファミリーグループ・カンファレンスの提案 ●模擬事例 シーン4 ファミリーグループ・カンファレンスの準備	2016
2 実施編	30分	●模擬事例 シーン5 ファミリーグループ・カンファレンスの説明と参加者自己紹介 ●模擬事例 シーン6 情報共有 ●模擬事例 シーン7 ファミリータイム ●模擬事例 シーン8 合意段階 ●模擬事例 シーン9 クロージング	2016

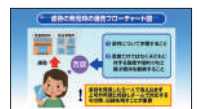


「しつけ」と「虐待」

監修：指定保育士養成施設子ども學舎 小橋明子、九州保健福祉大学大学院連合社会福祉学研究所 小橋拓真

ますます大きな社会問題となっている子どもに対する「虐待」。保護者が子どもに対して行う不適切な関わりで良く言われるのが「しつけ」なのか「虐待」なのかです。この作品は、それにまつわる問題を指定保育士養成施設子ども學舎の小橋明子先生が講義の形式で解説します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 その違いを考える	49分	●児童虐待の現状 ●しつけについて ●子どもの発達 ●子どものやる気としつけの兼ね合い ●しつけと虐待 ●しつけか虐待かの判断 ●しつけを身につける	2019
2 不適切な親の養育態度と子どもの問題 ～保育支援における気づき～	39分	●不適切な養育の背景 ●事例で見る『保育支援における気づき』 ●まとめ *事例検討用資料 PDF 付属	2019



<乳児院> あたたかい見守りの中で

監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 指導：青山学院大学 庄司順一

一般には乳児院の存在や役割を知ることであっても、詳しい乳児院の様子や保育の内容まではなかなか目にする機会がありません。現在のニーズに対応して変わり行く今の乳児院を紹介していきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 変わり行く乳児院	30分	●しゃんぐりらベビーホームの紹介 ●乳児院とは ●乳児院での保育看護 ●保育士、看護師インタビュー ●家庭支援相談員、心理士インタビュー ●入所から退所まで ●施設長インタビュー	2009
2 乳児院の1日	30分	子どもたちの1日 ●朝～午前 ●昼食～午睡・保育士、看護師インタビュー ●午後～夕食 ●就寝 ●深夜	2009



里親養育

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所

近年、不適切な養育や虐待などにより、心身に傷を負った子どもたちが増加しています。そのような子どもたちを社会的に養護して行くのが、乳児院や児童養護施設を代表とする施設養護と、里親や養子縁組などによる家庭的養護です。

タイトル	時間	内容	制作年
1 基礎講義編	39分	●「里親制度」とは 社会的養護と里親制度を関東学院大学の澁谷昌史先生の講義で解りやすく解説します。	2011
2 養育の実際編	24分	●社会的ニーズの変化 ●里親支援制度 ●里親に関わる児童相談所の役割 ●虐待された子どもの心理と心のケア ●里親養育の体験談	2011



子ども虐待

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

「子ども虐待」は、親子の周りにいる人たちが力を合わせて可能な限り早期に発見し、適切な援助の手をさしのべることが必要不可欠です。そのためには、より多くの人々が「子ども虐待」という社会問題に関心をもち、それを正しく理解することが必要になります。

タイトル	時間	内容	制作年
1 子ども虐待を理解するために	30分	● 子ども虐待の定義 ● 子ども虐待のタイプ ● 子ども虐待の実態 ● 子ども虐待への対応	2001
2 早期発見と初期対応	30分	● 虐待の発見から援助までの流れ ● 子どもへの支援の基本 ● 一時保護とは ● 専門家の方々へのインタビュー	2001



保育の内容

虐待を防ぐために

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 指導：日本子ども家庭総合研究所 ソーシャルワーク研究担当部長 才村純

「ネットワークづくり」や「家族再統合」に向けた取り組み、これからの方向性などを専門家のお話と具体的な事例を紹介して、虐待防止活動の一助になればと制作しました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 虐待防止対策の課題と方向性	49分	● 虐待はどうしておこるか ● 専門家の先生のお話(才村純先生) ● 民間ネットワークと行政のネットワークの連携	2005
2 ネットワークづくりと家族再統合への取り組み	39分	● 大阪府泉大津市 ● 埼玉県上尾市 ● 愛知県津島市 ● 親支援のグループセラピー	2005



こどもの保健

こどもの発達

乳幼児の発達を支えるマザリーズ

監修：名古屋女子大学短期大学部 保育学科 講師 児玉珠美

マザリーズとは、乳幼児に対する語りかけ方のことです。マザリーズの誇張するような話し方は乳幼児にとってどのような効果があるのか、心理学や脳科学の領域から、わかりやすく解説します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 マザリーズの効果	23分	マザリーズの効果について心理学や脳科学の先行研究で実証された内容を実際の乳児親子の様子を見ながら学びます。乳幼児の発達にとって不可欠なものであることを理解していきます。	2017
2 マザリーズ教室紹介	26分	赤ちゃんと一緒に楽しんでいるうちに、自然と豊かなマザリーズ表現ができるようになる教室を紹介します。ぜひ授業や地域の親子教室で取り組んでみてください。	2017



児童福祉

こどもの発達

健康な乳幼児の発達

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 総合指導：東洋英和女子学院大学 高野陽

ある女の子の誕生から18か月までの発育・発達していく過程を紹介しながら、保育所に通う同じ月齢の子どもたちも紹介しています。ただし、子どもの発育・発達には個人差があり、あくまでも平均的な、典型的な目安として紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 誕生から10か月頃	30分	● 出産直後～産後2か月頃 ● 生後3～4か月頃 ● 生後6～7か月頃 ● 生後9～10か月頃	2002
2 12か月から18か月頃	30分	● 生後18か月頃 ● 生後12か月頃	2002



特別支援教育

音楽的な遊びに見る乳幼児の発達

監修：京都教育大学 教育学部幼児教育科 准教授 平井恭子

京都教育大学で幼児の音楽的発達について研究している平井先生は、長女のみきちゃんの家庭での遊びの様子を0歳から5歳まで撮影し続けました。その中で、2歳年下の次女のさっちゃんとの関わりも捉えられています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 0～1歳編	各30分	これらの映像から、子どもがことばやうた、身体の動きなどを使って声と身体の動きを同期させたり、他者とコミュニケーションしたりしながら成長していく様子を自然な生活の流れの中で見ることができます。みきちゃんの0歳から5歳までの遊びの姿から、音楽的発達の道すじを動きやことば、社会性など、乳幼児の総合的な発達をふまえながら分かりやすく解説します。	2016
2 2歳編			2016
3 3歳編			2016
4 4歳～5歳編			2016



乳児の食べる機能の発達と成長・発育

企画・監修：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会理事長 金子芳洋、昭和大学歯学部教授 向井美恵、
心身障害児総合医療療育センター歯科医長 尾本和彦

乳児の摂食機能の発達を経時的な映像データをもとに追跡し、科学的に分析・解説します。哺乳機能から摂食機能へと発達する過程は詳細に観察してみると、一定の順序に従っていることがわかります。このビデオでは、健康乳児について哺乳期から離乳期までの食物摂取時の口唇や舌、顎の動きに着目し、その発達変化を観察します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 哺乳動作の発達	30分	主に哺乳機能について、探索反射、吸啜反射、咬反射などの観察、超音波診断装置や筋電図、口腔内の哺乳の動きが直接見られるよう特別に開発されたビデオカメラなどを駆使して追跡する。	1992
2 摂食動作の発達	30分	離乳期において固形食や水分を摂取する機能が生後月数とともにどのように獲得されていくのかを、口唇、舌、顎の行動観察と関連させながら追いかける。発達を十分に理解することは、健康児は無論摂食障害をもつ子どもの診断や指導訓練をする上でも重要である。	1992



特別支援教育

3 法令と障がいのある子どもの教育・保育

監修・副音声解説：四季の森幼稚園 園長 玉川大学 教育学部 教授 若月芳浩

*副音声あり・なし

この作品では、障がいのある子ども、かかわりの難しい子どもの教育・保育について、幼稚園教育要領などの3つの法令に沿って解説した上で、実際の教育・保育の場面をみながら、考えを深めていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 インクルーシブな教育・保育	60分	3歳、4歳の障がいのある子どもの、インクルーシブ教育・保育を実践している幼稚園で過ごす生活・遊びの場をじっくりと観察することで、インクルーシブ教育・保育を体験し、考えを深めます。	2018
2 障がいのある子どもと小学校との接続を考える	60分	障がいのあるCくんの、5歳児クラス秋に撮影したさまざまな場面を中心に幼児期から小学校までの成長を追っていきます。子どもの成長の姿や保育者の丁寧な配慮、更には小学校に向けての育ちをどのように接続する必要があるかなど、障がいのある子どもの対応の方向性や、保育のあり方について考えてみましょう。	2019



特別支援教育 知的障がい児のキャリア発達を育むキャリア教育

監修：創価大学教育学部教授 藤原義博

生徒の社会的・職業的自立を目指し、小学部の成果を踏まえ、中学部から高等部の特別支援学校での活動の様子を1年間にわたって追いかけてきました。中学部から高等部までのつながりを持ってキャリア教育の積み重ねに取り組む、特別支援学校の授業実践をご覧ください。

タイトル	時間	内容	制作年
1 中学部編	62分	小学部で育んだ基礎力・基礎体験を基に中学部の作業学習および校外学習において取り組む『キャリア教育』の授業実践の様子をご紹介します。	2017
2 高等部編	59分	小学部、中学部で育んだ基礎力・基礎体験を基に高等部の作業学習において取り組む『キャリア教育』の授業実践の様子をご紹介します。	2017



特別支援教育 知的障がい児のキャリア発達を育む学校力

監修：創価大学教育学部教授 藤原義博

小学部低学年から高等部までの特別支援教育の積み重ねによって成長していく児童生徒の主体的な姿をご覧いただき、特別支援学校の「学校力」のすばらしさをお伝えします。

タイトル	時間	内容	制作年
1 キャリア発達を育む「学校力」	60分	学部低学年から高等部までの、つながりをもって取り組む特別支援学校の授業実践を見ていただき、育む「ねらい」や、支援のあり方などを学んで頂ければと思います。	2015
2 児童生徒の主体的な活動・参加を培う「チャレンジタイム」小学部	50分	「チャレンジタイム」は、児童生徒の主体的な活動・参加を可能にする支援環境を用意し、習得した知識・技能を活用して課題解決力を発揮する最たる場であり、学校全体の授業力を見極める指標ともなる他の授業のベースとなる力を培う授業です。指導内容は、単元・学年・学部ごとに大きく変わりはせず、小・中学部、高等部へと毎日積み重ねていくのです。これによって、どれほどの児童生徒の自立的・主体的な活動・参加の姿が実現されるか、キャリア発達を育む「学校力」の成果をご覧ください。	2016
3 児童生徒の主体的な活動・参加を培う「チャレンジタイム」中等部・高等部	36分		2016



肢体不自由児の水遊び・水泳

監修・指導：こども教育宝仙大学准教授 松原豊

この作品では、集団活動の楽しさやパワーを利用することで、水中活動の苦手な子どもでも、水の中で楽しく自由に動けるよう、水慣れから、水泳の基本動作の習得までを視野に入れて考案した集団プログラムを紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
肢体不自由児の水遊び・水泳	35分	● 肢体不自由児の水遊び・水泳の効果 ● 水中活動を始めるにあたっての準備 ● 水中活動プログラム	2011



保育の内容

障がいのある子どもの運動遊び

監修：こども教育宝仙大学 准教授 松原豊

この作品は、運動遊びをする機会が少なくなっている障がいのある子どもたちに対して、現場の指導者が運動遊びの効果的な指導・支援の進め方についてより広く活用できるように制作されました。

タイトル	時間	内容	制作年
1 運動遊びの役割	30分	● 障がいのある子どもと運動遊びの意義について ● 障がいのある子どもの運動面の特性について ● 運動遊びで困っている子どもの支援について ● 日常生活の観点からみたアセスメント ● 子どもの運動発達テスト ● 指導において配慮する点	2010
2 さまざまな運動遊び	30分	● からだで遊ぶ ● リズム・ダンスで遊ぶ ● 道具を工夫して遊ぶ ● 集団で遊ぶ	2010



こどもの保健

知的障害児・者の身辺自立

監修：発達協会／保育士 石井葉

知的障害のある人の「身辺自立」のうち、食事・排泄・着脱・清潔についての具体的な指導法・コツを紹介します。また各巻に挿入された保護者や本人たちの話は、「身辺自立」をすすめる指導者や保護者に大いに参考になることでしょう。

タイトル	時間	内容	制作年
1 身辺自立と指導の基本	32分	ここでは、「身辺自立」の目的を紹介し、技能やマナーを教えるための各段階での対応、指導方法、大人の心構え、コツを解説します。	1999
2 指導の実例 食事・排泄編	37分	ここでは、食具・道具を使つての飲食、偏食を減らす方法、テーブルを拭く、お盆で運ぶなどのマナーも教え、「きれいに食べる」ことをめざします。またトイレでの「排泄」は、学んで獲得するものです。コツや見落としがちなポイントを示し、外出先でも困らないようにしていきます。	1999
3 指導の実例 着脱・清潔編	40分	「着脱」「清潔」は生理的な欲求ではないので、一から教えていくこととなります。これらの技能や手順を覚えるまでには健常者でも時間のかかるものです。衣服の「着脱」では本人の意識しやすい要領や工夫を紹介します。手洗い、歯みがき、入浴、爪切りなどの「清潔」では、触覚防衛をクリアする方法とともに、「清潔感」を意識させる意味を解説します。	1999



児童福祉

障害のある子どもの個別指導

監修：障害児基礎教育研究所所長 水口凌

子どもに合わせて工夫を重ねた手作りの教材・教具を通じて、障害のある子どもたちの心を開き、学習意欲を呼び起こし、学習の喜びを共有してきた水口先生の30年間の歩み。その教育実践の精髓を紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 ほら！さわってごらん 手作り教材・教具の紹介	35分	水口先生はこれまで5000点以上の教材・教具を製作しています。それらは系統的に作られており、属性(大小)・色・形の分別学習、形の構成と分解、事物の分別学習、文字や数の基礎学習のものに分けられます。まず、基礎教育における教材・教具の役割を解説の上、実際の教材・教具を数多く紹介していきます。	1994
2 せんせい、つぎなあに？ 教材・教具活用の実例	48分	はじめにさまざまな障害(脳性麻痺、自閉傾向、ダウン症候群等)のある子ども7名に対する指導の実例を見ていきます。また、「生涯を通じて学ぶ喜びを味わって欲しい」と願って活動する水口先生の、障害のある成人5名の方々への個別指導場面的一端を紹介します。	1994



こどもの発達

動作法～癒しのボディ・ワーク～

監修：文教大学教育学部教授・教育学博士 今野義孝

動作法は、心身の緊張をゆるめ、心と身体の調和的な体験を援助する方法です。

タイトル	時間	内容	制作年
1 動作法の基礎	30分	● 動作法の生い立ち ● 動作法のねらい ● 動作法による援助の広がり ● 動作不自由の成り立ち ● 多動的な行動・自閉的な行動の成り立ち ● 緊張による心と身体の体験 ● 姿勢は心のあり方を表す ● 快適な身体体験の共有とコミュニケーション ● 身体と心の快適な体験	2001
2 動作法の実例	43分	● 「腕上げ動作コントロール」の方法・プログラム・効果 ● 「とけあう体験の援助」の方法 ● 「姿勢づくり(タテ系動作)の援助」の方法 ● 具体的な援助の実例～脳性まひ児の動作改善/自閉症、多動などの発達障害児の自己コントロールの援助/親子関係・愛着の確立の援助/仲間づくりの援助 ● 学習意欲を高める援助 他	2001

特別支援教育

ダウン症児の早期発達支援

総監修：筑波大学心身障害学系教授・保健学博士 池田由紀江

ライフサイクル全体を見通して、障害をもった子どもとその家族は地域からどのような支援を受けることができるのか、また地域はどう支援すべきなのか、この映像はそうした視点に立って、ダウン症の子どもとその家族に対する早期の発達支援について考えていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 誕生から幼児期前半 成長のよるこびと可能性を求めて	35分	● ダウン症の原因と特徴 ● 様々な支援体制／健康管理のポイント ● 発達支援～通園施設、個別での発達支援、家庭でのかわり、お母さんの話 ● 地域のセルフヘルプ活動、日本ダウン症協会の活動と役割	2001
2 幼児期後半 生きる力を育てる	48分	● 発達特徴と課題～運動・認知・言語・生活する力 ● 発達評価と個別での発達支援、お母さんの話 ● 家庭での生活 ● ちゅうりっぷの会(親の会)の活動 ● 発達相談 ● 統合保育、ケース会議 ● 横山園長の話 ● 就学や学校での生活 ● 「おかし屋ぱれっと」での仕事、所長の話 ● 地域生活のポイント	2001

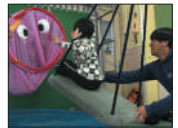


感覚統合～自閉症スペクトラム児・者の感覚処理障がいと対応～

監修：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 岩永竜一郎、長崎市立橋小学校 教諭 木村栄、長崎県口腔保健センター 診察部長 長田豊

このシリーズは、現場取材に基づき、実例を通して感覚面や運動面に問題を抱える自閉症スペクトラム児・者に対する対応や支援について紹介・解説します。また、訓練室での感覚統合療法の様子やその効果、特別支援学級や医療機関での取り組みについても紹介します。

タイトル	時間	内容	制作年
1 感覚処理障がいとは	33分	● 感覚処理障がいとは ● 自閉症スペクトラム児の感覚処理障がいの例 ● 感覚処理障がいに対して ● 感覚処理障がいを持つ子どもたち～日常生活での不適応について～ ● 感覚統合のアセスメント ● 幼児を対象としたアセスメント	2010
2 感覚統合療法	38分	● 感覚統合療法の実際 ● 感覚調整の問題を改善する感覚統合療法 ● 保護者への説明 ● 感覚の問題への対応 ● 自閉症スペクトラムの人たちからのメッセージ	2010
3 支援の現場から1	25分	● 特別支援学級での取り組み ● 指導教諭 インタビュー ● 感覚統合学会の様子	2010
4 支援の現場から2	27分	● 医療行為(歯科治療)における配慮の必要性 ● 担当医師 インタビュー	2010



子どもの精神医学の理解

監修・指導：東京都立梅ヶ丘病院院長 市川 宏伸、国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部長 齊藤 万比古、北海道大学大学院教授 田中 康雄

このシリーズは、日頃子どもと関わるさまざまな分野の人たちが、子どもの心の病気や障害……、それによる「生きづらさ」を正しく理解することによって、問題視される子どもの真の姿を把握し、適切な関わりができるようになるための教材です。

タイトル	時間	内容	制作年
1 子どもの精神医学の基礎知識	40分	● 子どもの精神医学の歴史的変遷 ● 子どもの精神医学の現状 ● 子どもの精神医学の分類 ● 子どもの精神医学の問題 ● 子どもの精神医学の将来展望	2006
2 発達障害圏の疾患	30分	● 軽度発達障害の概要 ● 広汎性発達障害(自閉症) ● ADHD(注意欠陥多動性障害)	2006
3 精神病圏および神経症圏の疾患	30分	● 精神病圏の疾患 ● 神経症圏の疾患	2006

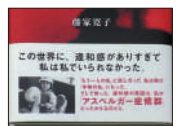


自閉者が語る幼少時代

監修・指導：北海道大学大学院教育学研究科教授／児童精神科医 田中康雄

アスペルガー症候群や高機能自閉症は外部からは見えにくい障害として知られています。医学的症例からだけでは理解しづらい自閉者の内面―その驚くべき世界を自閉者が自らの内面を語り、少しずつ明らかにしていきます

タイトル	時間	内容	制作年
1 とってもつらかった・・・	30分	● アスペルガー症候群とは… ● 藤家さんの幼児期 ● 藤家さんの見ていた世界 ● アスペルガー症候群の子どもをもつ母親として ● 感覚過敏について ● 保育士の立場から ● アスペルガー症候群と自閉について	2004
2 気づいて欲しかった・・・	30分	● アスペルガー症候群の認知度 ● アスペルガー症候群と診断されて ● ことばと言語表現の問題 ● アスペルガー症候群とイジメの問題 ● アスペルガー症候群への対処法 ● 保育士の立場から	2004



軽度発達障害のある子どもたち

監修・指導：国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部 田中康雄

代表的な軽度発達障害であるAD/HDおよびアスペルガー症候群(AS)を取り上げて、それらに関する医学知識を分かりやすく解説します。また、子どもの発達状況や障害の状態に応じた個別的な関わりを、いかに保育の現場で可能にしていくか、そのための対応や援助の具体的なヒントを提示していきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 障害の種類と幼児期の対応 ～AD/HD、ASを中心に～	60分	●軽度発達障害の認めにくさ ●AD/HDとは ●AD/HDの代表的な3つのタイプ ●AD/HDの子どもの内的世界 ●アスペルガー症候群とは ●アスペルガー症候群の臨床的特徴 ●幼児期の対応の実際	2004
2 保育における対応と支援	50分	●対応と支援のプロセス ●保育所・幼稚園時代の特徴と支援 ●ほめるときのポイント	2004



もっとたのしく、もっとゆたかに

監修・出演：群馬大学 医学部 助教授/作業療法士 岩崎清隆

遊びが原動力、発達の機関車です。あそびは、子どもからさまざまな動きを引き出してくれます。また意欲を生み出し、日々の活動を積極的にしてくれます。あそびやからだの動きには、一定の発達段階があり、それを理解しての関わりこそ重要です。この作品では、あそびへの理解や促し方とともに、引き出された意欲をもとにした生活動作への指導法についても具体的に学べます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 からだ全体を使ったあそび あそぶためのからだづくりと空間認知	46分	●身体像の形成を促すあそび ●からだの正中線を自覚するあそび ●環境を知るあそび	2002
2 目と手の協調を促すあそび 生活動作に向けた手の使い方	50分	●両手の協調を促すあそび ●手の巧緻性を促すあそび ●ものごとの手順を学ぶあそび ●気持ちのコントロールを促すあそび	2002



気になる子どものいる保育

監修：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 指導：國學院大學幼児教育専門学校 野本茂夫

園にさまざまな子どもが集まっています。中には、保育者にとって気になる子どもやかかわりの難しい子どももいます。この作品に登場するジュンちゃんは5歳児で、週に1日療育センターに通い指導を受けています。作品を通して、ジュンちゃんが友達や保育者とのかかわりの中でどのように成長していくかを見ていきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 であいとあそび	30分	ここではジュンちゃんの園での充実した日々の様子や、保育者がこれまで真剣に振り返り保育の課題を話し合う園内研修会の様子などを紹介します。	2007
2 ともだちといっしょに	30分	ここでは、第1巻につづいて、ジュンちゃんの園での充実した日々の生活、運動会での生き生きとしたジュンちゃんの様子などを紹介します。	2007



落ち着きのない子どもたち

監修：社会法人 発達協会 王子クリニック 院長・医師 石崎朝世

子どもとは元来落ち着かないものです。しかし、それが極端な一群の子どもたちがいます。いわゆる「多動症候群」の子どもです。小児科医・臨床心理士・言語聴覚士・社会福祉士などの様々な専門分野からの視点・知見を提示するとともに、最も身近な保護者の話を挿入しながら、具体的な対応法や指導法を紹介していきます。

タイトル	時間	内容	制作年
1 理論編	29分	●多動な子どもとは？ ●多動症候群の診断基準 ●多動症候群と周辺障害 ●多動症候群の子の発達 ●多動症候群への対応 ●似たような子ども時代を送った人たち	1997
2 実践編	51分	●多動な子のための運動指導 ●多動改善のための認知・言語指導 ●仲間との関係づくりを進める ●まとめ	1997



障害をもつ子どもの発達臨床

構成・監修：淑徳大学 社会学部 教授/発達臨床研究センター長 宇佐川浩

1～6歳の障害乳幼児を対象に、淑徳大学発達臨床研究センターが20年以上続けてきた系統的な治療教育を紹介。「感覚と運動の高次化理論」に基づき、子どもの詳細な発達診断を行いながら実施する個別・集団の治療教育は、特に認知的な側面と対人・自我の発達に焦点をあてたもので、トータルな療育方法として注目を集めています。

タイトル	時間	内容	制作年
1 理論編	30分	●発達臨床の立場 ●発達臨床における発達の視点 ●発達臨床の発達の枠組 ●感覚と運動の高次化理論による発達段階 ●発達臨床法の特徴 ●教材・教具とセラピの位置づけ	1993
2 療育編	55分	●多発達臨床の方法 ●音楽療法(聴覚的運動療法) ●粗大運動療法 ●視覚運動療法 ●言語・概念療法 ●構造化された関係療法 ●組織的集団ごっこあそび ●まとめ	1993

